

fine food is our business

**ROYAL
GROUP**

平成20年12月期決算 前年同期比較資料

(証券コード:8179)

ロイヤルホールディングス株式会社

URL <http://www.royal-holdings.co.jp/>

平成21年2月13日

目次

頁

平成20年12月期 決算の概況

4

《第1部》 実績報告

* 平成20年12月期決算 連結業績

連結業績

6

当期純利益減少要因

7

セグメント別 売上高・営業利益

全体

8

外食事業

9

食品事業

10

機内食事業

11

ホテル事業

12

fine food is our business

目次

	頁
《第2部》 業績予想	
* 業績予想の前提	14
* 平成21年12月期 連結業績	15
セグメント別 売上高・営業利益	16
注意事項	17



fine food is our business

平成20年12月期 決算の概況

- ・ 全体
 - 景気の悪化や個人消費の低迷等により収益が悪化、店舗閉鎖決定等により特別損失計上

【以下のセグメント概況では外部売上高および営業利益についての説明を記載しております。】

- ・ 外食事業
 - 既存店の来客数が総じて減少したことにより、減収(▲1,863百万円)・減益(▲2,102百万円)
 - ・ ロイヤルホスト事業は、減収(▲2,914百万円)・減益(▲814百万円)
 - ・ その他外食事業は、減収(▲256百万円)・減益(▲848百万円)
 - ・ M&A効果による増収効果あり(+1,307百万円)
- ・ 食品事業
 - 既存事業は増収であったが、平成19年第4四半期より子会社1社を非連結化した影響を受け、減収(▲3,615百万円)・減益(▲397百万円)
 - ・ 組織再編で食品事業子会社の1社を連結対象外とし、減収(▲3,899百万円)・減益(▲260百万円)要因あり
 - ・ カフェチェーンやコンビニ向けの売上が伸張(+284百万円)、主に外食事業悪化に伴う効率性低下により減益(▲137百万円)
- ・ 機内食事業
 - M&A効果はあったが事業環境厳しく、増収(+231百万円)・減益(▲52百万円)
- ・ ホテル事業
 - 平成19年以降開業したホテルが貢献し増収(+2,347百万円)開業費用及び補修費用等を積極的に投下した影響により減益(▲572百万円)

fine food is our business



《第1部》 実績報告

fine food is our business

ROYAL

平成20年12月期決算 連結業績

景気の悪化や個人消費の低迷等により収益が悪化、店舗閉鎖決定等により特別損失計上

	平成20年 12月期	平成19年 12月期	前年同期比較	
売上高	120,095	122,995	▲ 2,900	(▲ 2.4%)
営業利益	1,077	4,197	▲ 3,120	(▲ 74.3%)
経常利益	1,191	4,570	▲ 3,379	(▲ 73.9%)
当期純利益	▲ 5,597	1,064	▲ 6,661	(—)

【百万円】

《参考値：売上高・経常利益・当期純利益推移》

	平成17年 12月期	平成18年 12月期	平成19年 12月期	平成20年 12月期
売上高	101,533	116,199	122,995	120,095
経常利益	5,014	4,563	4,570	1,191
当期純利益	3,395	1,653	1,064	▲ 5,597

【百万円】

fine food is our business

当期純利益減少要因

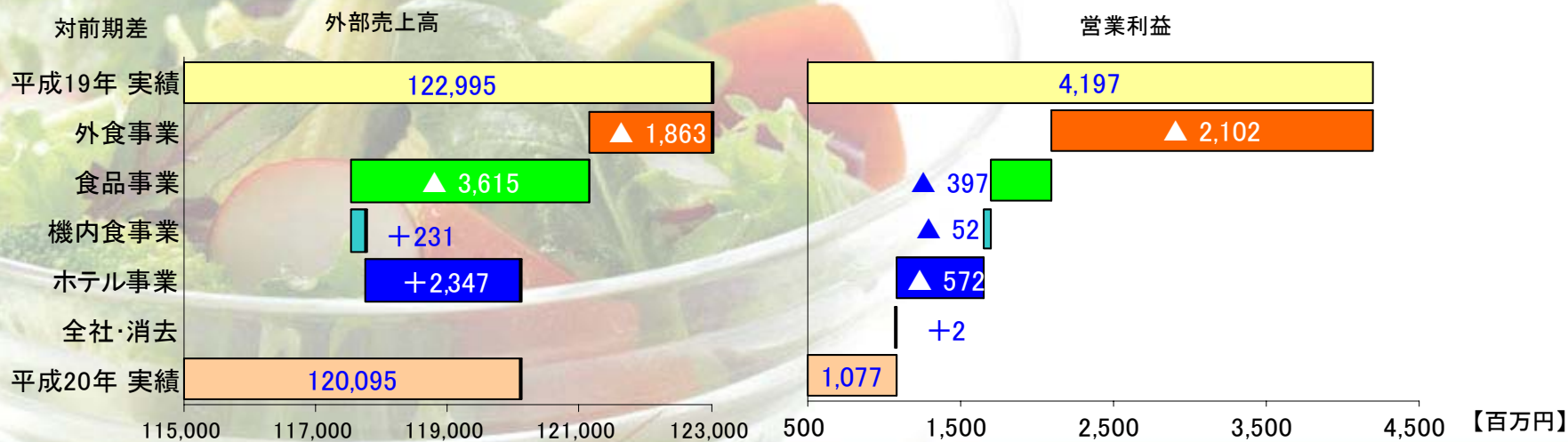
【百万円】

平成19年12月期 当期純利益	1,064	
経常利益減少分	▲ 3,379	
のれん減損損失等	▲ 1,575	外食子会社2社が対象
その他の減損損失(増加分)	▲ 1,321	店舗閉鎖決定又は収益性低下に伴うもの
店舗撤退損失引当金繰入(増加分)	▲ 1,403	不採算店舗閉鎖決定に伴うもの
投資有価証券評価損	▲ 573	株価下落に伴うもの
法人税等(減少分)	+ 803	減益に伴うもの
少数株主持分(減少分)	+ 473	減益に伴うもの
その他増減	+ 314	持分変動損失等前年のみ計上分など
平成20年12月期 当期純利益	▲ 5,597	

fine food is our business

セグメント別 売上高・営業利益

実績	平成20年12月期		平成19年12月期		前年同期比較	
	外部売上高	営業利益	外部売上高	営業利益	外部売上高	営業利益
外食事業	98,534	42	100,397	2,144	▲ 1,863	▲ 2,102
食品事業	3,768	272	7,383	669	▲ 3,615	▲ 397
機内食事業	6,573	1,040	6,342	1,092	+ 231	▲ 52
ホテル事業	11,218	726	8,871	1,298	+ 2,347	▲ 572
全社・消去	—	▲ 1,005	—	▲ 1,007	—	+ 2
合計	120,095	1,077	122,995	4,197	▲ 2,900	▲ 3,120



fine food is our business

外食事業

既存店の来客数が総じて減少したことにより、減収(▲1,863百万円)・減益(▲2,102百万円)

【百万円】

【外食事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成19年12月期	100,397	2,144	
M&A効果※	+ 1,307	▲ 45	第1四半期分・のれん償却後
ロイヤルホスト事業	▲ 2,914	▲ 814	内訳は下記「ロイヤルホスト事業内訳」参照
その他外食事業	▲ 256	▲ 848	一部好調な業態はあり
間接経費	—	▲ 395	新システム稼働費用など
平成20年12月期	98,534	42	※対象会社:セントレスタ(株)平成19年第2四半期より連結化

【百万円】

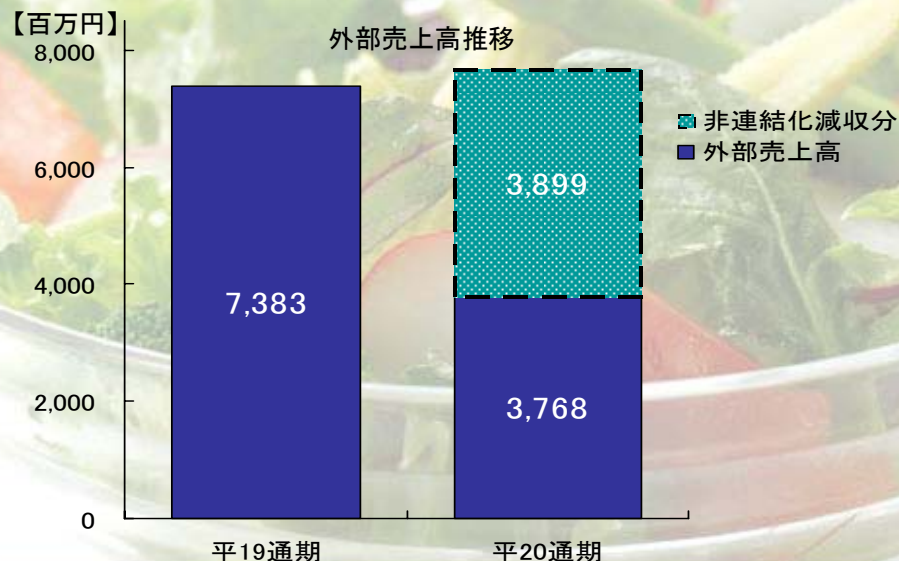
「ロイヤルホスト事業内訳」	外部売上高	営業利益
既存店減収及びその減益分	▲ 2,749	▲ 837
開閉店効果	▲ 165	▲ 15
集中購買等改善による購買費用削減	—	+ 283
人件費増	—	▲ 241
店舗経費増	—	▲ 64
その他	—	+ 59
合計	▲ 2,914	▲ 814

fine food is our business

食品事業

既存事業は増収であったが、平成19年第4四半期より子会社1社を非連結化した影響を受け、減収(▲3,615百万円)・減益(▲397百万円)

【食品事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成19年12月期	7,383	669	
連結範囲の変更	▲ 3,899	▲ 260	ロイヤル食品株※非連結化による
変動分	+ 284	▲ 137	カフェチェーンやコンビニ向けの売上が伸張 主に外食事業悪化に伴う効率性低下
平成20年12月期	3,768	272	※ ロイヤル食品株は、平成19年第4四半期より持分法適用会社化



全国各地のおいしさ色々 こだわりのお取り寄せ



ロイヤルオンラインショッピング

ロイヤルが選んだ【とっておきのおいしさ】をお届けします

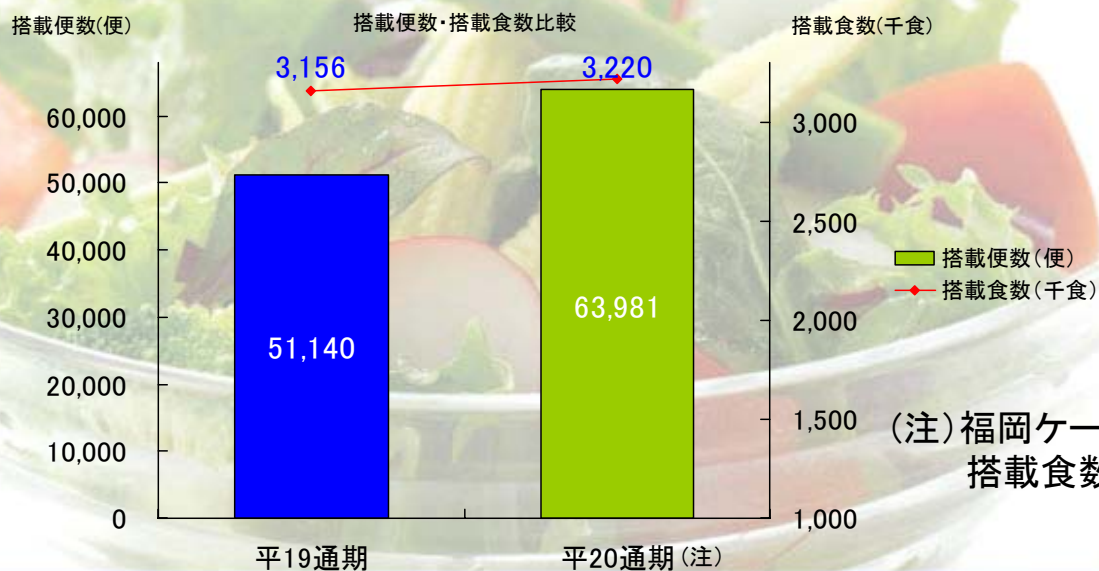
<http://www.shoproyal.jp/>

fine food is our business

機内食事業

M&A効果はあったが事業環境厳しく、増収(+231百万円)・減益(▲52百万円)

【機内食事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成19年12月期	6,342	1,092	
M&A効果※	+ 375	+ 10	下半期分・のれん償却後
変動分	▲ 144	▲ 62	航空会社による合理化の影響を受け減収 原材料価格の高騰と人件費の上昇等により減益
平成20年12月期	6,573	1,040	※対象会社: 福岡ケータリングサービス(株)平成20年第3四半期より連結化



福岡ケータリングサービス(株)は、ロイヤル株式会社の機内食事業を承継し、平成21年1月1日付で福岡インフライトケイタリング(株)へ商号変更致しました。

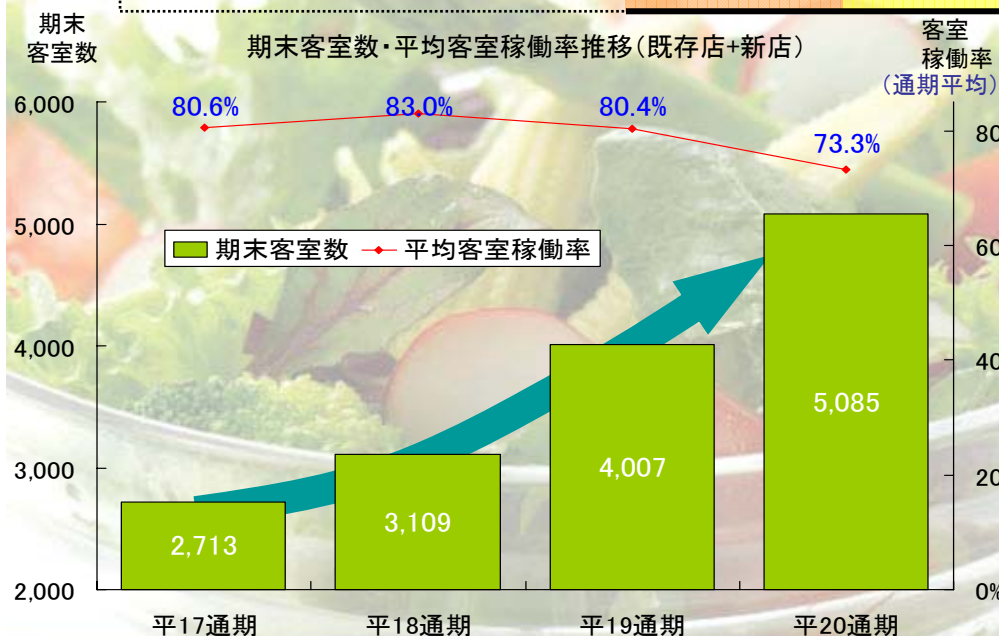
(注) 福岡ケータリングサービス(株)の搭載便数11,554便、搭載食数251千食を含んでおります。

fine food is our business

ホテル事業

平成19年以降開業したホテルが貢献し増収（+2,347百万円）
開業費用及び補修費用等を積極的に投下した影響により減益（▲572百万円）

【ホテル事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成19年12月期	8,871	1,298	
開店効果等※	+ 2,526	▲ 143	平成19年以降の新規開業の影響による 内装のグレードアップなどの費用が増加
既存店増減分※	▲ 179	▲ 429	
平成20年12月期	11,218	726	※ 平成20年開業費用、補修費用合計：404百万円



平成20年開業実績(平成19年開業は4ホテル)

ホテル名	開業日	室数
リッチモンドホテル山形駅前	平成20年1月8日	220
リッチモンドホテルプレミア武蔵小杉	平成20年3月24日	305
リッチモンドホテル熊本新市街	平成20年4月1日	160
リッチモンドホテル帯広駅前	平成20年6月7日	209
リッチモンドホテルプレミア仙台駅前	平成20年7月1日	184

今後の開業予定:

リッチモンドホテル秋田駅前(198室)	平成21年1月9日
リッチモンドホテル成田	平成21年6月
リッチモンドホテル鹿児島天文館	平成21年7月
リッチモンドホテル青森	平成21年年内

fine food is our business



《第2部》 業績予想

fine food is our business

ROYAL

業績予想の前提

事業環境

- ◆ 景気回復の目処は立っておらず、外食に対する消費回復は期待できず
- ◆ 原材料価格や人件費などの諸費用はその需給関係から高止まりを予想
- ◆ 厳しい経営環境が継続するものと認識

売上高…◎、営業利益…○

ロイヤルホスト事業

◎○【既存店前年比】	上期	下期	通期
売上高	91.5%	95.5%	93.5%
来客数	91.5%	95.5%	93.5%
客単価	100.0%	100.0%	100.0%

その他の外食事業

- ◎ 既存店売上高は平成20年並みを想定、不採算店舗の閉店により売上減少
- 現場力強化・シナジー効果によるコストダウン、不採算店対策等による収益改善

食品事業

- ◎ 売上高は平成20年並みの水準を想定
- 現場力強化・シナジー効果によるコストダウンによる収益改善を計画

機内食事業

- ◎○ M&A効果はあるが、航空会社による合理化の影響は強まる見込

ホテル事業

- ◎ 新規開業は4ホテル、客室稼働率は73.1%を想定
- 新規開業の影響が下期に偏っており、平成21年の収益性は低下する見込

fine food is our business

平成21年12月期 連結業績予想

【億円】

	平成21年12月期 予想	平成20年12月期 実績	増減率
売上高	※ 1,120.0	1,201.0	▲ 6.7%
営業利益	16.5	10.8	+ 53.2%
経常利益	18.0	11.9	+ 51.1%
当期純利益	2.0	▲ 56.0	—

※平成20年12月19日に公表いたしました新中期経営計画における数値から変更しております。

fine food is our business

セグメント別 売上高・営業利益予想

外部売上高

【億円】

	平成21年12月期 予想	平成20年12月期 実績	増減率
外食事業	899.0	985.4	▲ 8.8%
食品事業	37.0	37.7	▲ 1.8%
機内食事業	57.0	65.7	▲ 13.3%
ホテル事業	127.0	112.2	+ 13.2%
全社・消去	—	—	—
合計	1,120.0	1,201.0	▲ 6.7%

営業利益


【億円】

	平成21年12月期 予想	平成20年12月期 実績	増減率
	8.9	0.4	+ 2,019%
	3.8	2.7	+ 39.7%
	5.8	10.4	▲ 44.2%
	8.0	7.2	+ 10.2%
	▲ 10.0	▲ 10.0	—
	16.5	10.8	+ 53.2%

fine food is our business

注意事項

- ・ 本資料に記載している平成21年12月期の予想値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- ・ 本資料に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。



本資料に関する問い合わせ先：

ロイヤルホールディングス株式会社 財務部

電話：03-5707-8873 藤岡 / 鹿又(かのまた)

fine food is our business